

ジャーナリスト

日本ジャーナリスト会議 (JCJ)
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-8 松村ビル4F
電話 03-3291-6475 FAX 03-3291-6478
メールアドレス: jcj@tky.3web.ne.jp http://www.jcj.gr.jp
年間購読料3,000円(送料込み) 振替・00190-2-76501



THE JOURNALIST

2015.4.25

強まる翁長知事の求心力

首相との対話ようやく実現



翁長知事と安倍首相が会談した17日には、首相官邸前に200人以上が集まり、翁長知事を激励した。写真＝レイバーネット日本

沖縄の総意、屈服ありえぬ 見透かされた政権の「詐術」

翁長雄志沖縄県知事の座右の銘は「身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ」である。昨年11月の県知事選で前任の仲井真弘多氏に

10万票の差を付けて圧勝してから5カ月。身を犠牲にする覚悟で難事に取組んで初めて活路が開けるといふ言葉を体現し、沖縄の民意を力づくで組み敷こうとする安倍政権に立ち向かう翁長氏への求心力が、沖縄県内で一層強まっている。それが政治力の源泉となつて現れている。

局面は変わった！反転攻勢のとき

米軍普天間飛行場の代わりとなる名護市辺野古への新基地建設をめぐる情報のデリーの処理に追われて、安倍政権が狙う危険な戦争する国にされていらない。木を見て森を見ない「報道と見ざるを得ない」。

形を残し、「移設問題の進展」とオバマ大統領に伝える。知事との会談に込められた首相の思惑は見透かされている。翁長知事は会談を反転攻勢の絶好機として生かし、「絶対に辺野古に新基地は造らせないと述べた。」「建設できない」といふ言いぶりではなく、「沖縄のことは沖縄が決める」という自己決定権に裏打ちされた決意を直

安保法制

今なぜ「戦争法規」なのか メディア、腹据えた論陣を

ブレーキの壊れた暴走機関車さながらに、安倍政権は憲法の平和主義を弊履の如く投げ捨て「戦争する国」へ猛進する。戦後70年営々として築き上げた平和ブランドを下口靴で踏みしめる。これを暴挙と言わずして何と言おう。

5月の国会に提出する。昨年7月に閣議決定を強行した集団的自衛権行使の法制化は、法案最悪の問題点だ。

自衛隊をいつでも派兵できるように「恒久法」を制定し、地域制限を取り払って地球の裏側でも米軍支援への自衛隊派兵を可能にする。

「戦闘地域」に派兵された自衛隊は「殺し、殺される」戦闘活動を行う危険な「敵地」に投げ込まれる。自衛隊は、アフガニスタンの国際治安部隊 (ISAF) だけでなく、米国中心の有志連合の治安維持活動にも派兵される。

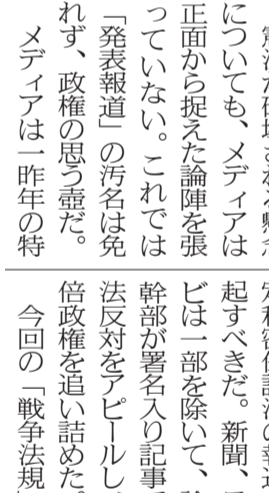
安倍政権が突き進む「戦争法規」制定の動きは、憲法九条を破壊する以外の何物でもない。内閣が吹き飛ばすような重大案件ばかりだ。

「戦争法規」の自公両党協議を巡る一連の報道を見ると、両党が発表する弱な紙面となった。

「戦争法規」の自公両党協議を巡る一連の報道を見ると、両党が発表する弱な紙面となった。

「戦争法規」の自公両党協議を巡る一連の報道を見ると、両党が発表する弱な紙面となった。

「戦争法規」の自公両党協議を巡る一連の報道を見ると、両党が発表する弱な紙面となった。



3・22国会包囲

憲法が破壊される懸念についても、メディアは正面から捉えた論陣を張っていない。これでは「発表報道」の汚名は免れず、政権の思つ壺だ。メディアは一昨年の特

●コミックJCJ●
「美しい国にするんだジョー」
江草卓二
だ。メディアは、覚悟を固めて「戦争法規」法案の真実を伝えてほしい。河野慎二
2年前の「屈辱の日」に「主権回復の日」の祝典を開き、沖縄社会の猛反発を招いた反省は一片もつかげない。翁長知事が言う「総理『日本を取り戻す』という言葉の中に沖縄は入っていませんか」という言葉が説得力を増して響いている。松元 剛(琉球新報)

発言し、行動しよう。一人ひとりがジャーナリスト。JCJ 60周年



挨拶する高橋直人・新聞労連副委員長

JCCJは3月28日、東京・神保町の岩波セミナーホールで2015年度総会を開催した。

議長に大場幸夫(出版)、須貝道雄(日経)を選出。吉原功代表委員が開会の挨拶。新聞労連副委員長の高橋直人さんから来賓挨拶を受けた。

憲法を守る闘い、各地で多彩に

「今年は60周年」JCCJ総会開く

林豊事務局長が前年度の活動について報告した。国民には消費税増税を押しつけ、非正規労働者の増加、社会保障費の削減など、格差は一層進んでいる。

JCCJは憲法改悪との闘いを重視してきた。特に法案段階から引き続き秘密保護法廃止の闘いや集団的自衛権容認反対の闘いを、他団体と共に街頭宣伝や集会への参加で展開してきた。

4月には「原発と人権in福島」で分科会「原発とメディア」を担当し、討論を組織した。10月に

被害者対策や原発事故の現状は放置したまま、原発再稼働や原発輸出を推進し、沖縄・辺野古の基地建設では、県民の一致した反対を無視し、知事に会うことさえしないので

発言は、首相の危険な憲法観の本質を示す象徴であり、また国民の意識を「自衛隊」から「軍隊」へとすり替えさせるものである。自民党は解釈変更による壊憲にとどまら

排外主義と、ものも言えなくされた国民を煽動し戦争に協力した、かつての日本のジャーナリズムの苦い歴史を忘れることなく、再び戦争のため

る。すべてのジャーナリストは、こうした広範な人々とともに、「戦争法制」をはじめとし、日本を再び戦争する国にし、差別を拡大し、自由にもが

る。メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

▼読者、視聴者が批判したり応援したりするのは同じことだ。メディアとしては、ご意見は聞き置き、必要なら反論もしたい。しかし、NHKとテレビ朝日に、自民党

今年JCCJ60周年。決議案「安倍政権による壊憲と戦争の危機を国民的共通で跳ね返そう」を論議し、一部修正の上、全員一致で採択した。

人事案が提起され、論議。最後に、林事務局長の「憲法を擁護し、発展させていく活動を強めよう」の挨拶で総会を閉会した。(JCCJ事務局)

のまずさ、情報隠しの無責任さは相変わらず。国民には消費税増税を押しつけ、非正規労働者の増加、社会保障費の削減など、格差は一層進んでいる。

NHKへの権力介入問題や朝日パッシングに対して機敏に取り組んだ。この問題での地方支部の取り組みも数多い。

NHKは憲法改悪との闘いを重視してきた。特に法案段階から引き続き秘密保護法廃止の闘いや集団的自衛権容認反対の闘いを、他団体と共に街頭宣伝や集会への参加で展開してきた。

4月には「原発と人権in福島」で分科会「原発とメディア」を担当し、討論を組織した。10月に

被害者対策や原発事故の現状は放置したまま、原発再稼働や原発輸出を推進し、沖縄・辺野古の基地建設では、県民の一致した反対を無視し、知事に会うことさえしないので

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

安倍政権による壊憲と戦争の危機を国民的共通で跳ね返そう

合意内容は、「集団的自衛権」という言葉を巧妙に避けながら、「後方支援」という名で米国の戦争に自衛隊が実質的に参加することを可能にする。「壊憲」の方針である。安倍内閣は、大震災の

工事を強行し、次々と違憲・壊憲の立法や政策を進めている。「自衛隊は軍隊ではない」という一点で憲法九条違反とされなかつた自衛隊を「わが軍」と呼んだ3月20日参院予算案での安倍首相の

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

「一人ひとりがジャーナリスト」のローガン掲げて、多くの国民と共同し、この攻撃を跳ね返し、日本国憲法を擁護し発展させていく活動を進めようではないか。

2015年3月28日 日本ジャーナリスト会議

その他60周年記念事業実行委員会等報告あり。15年度活動方針は「憲法問題を正面に据えて、特に沖縄・辺野古基地反対、表現・発表の自由の闘いが強調された。

香川は会員の高齢化あるも月1回の例会。広島は季刊誌「広島ジャーナリスト」が20号、市民活動との協力、秘密法ネット、9条ネット。

福岡は宮崎裁判報告、9条の会集会参加、朝日新聞問題。出版部会からは出版界の情勢、売上最大落込み、書店減少、アマゾン問題。嫌韓嫌中・朝日パッシング本増。若い世代がNOヘイトで立ち上がり。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

メディアは当然権力に向かつて発言する。それが、民主主義社会を支える公共財としての使命だからだ。そのメディアは常に開かれていなければならないから、当然権力側がクレームを付けてくることもある。

NHK・テレ朝呼び出し

JCCJなど自民に抗議

2015年度役員体制

視角

JCCJ事務所の移転について

自民党が、NHK「ク口現」のやらせ問題、テレ朝「報道ステーション」前コメントター古賀氏発言で両局幹部を呼んで意見聴取することが4月15日報道された。

これに対し16日、JCCJ、放送を語る会など13市民団体・9名のメディア関係者が、「政権党の

目には余るメディア干渉に抗議する」声明を発表。自民党、NHK、テレ朝に申し入れた。

NHK視聴者部では、JCCJ、放送を語る会、視聴者コミュニティ有志が文書を手渡し自民の呼び出しに応じないよう求めたが「調整中」と明言を避けた。

NHK視聴者部では、JCCJ、放送を語る会、視聴者コミュニティ有志が文書を手渡し自民の呼び出しに応じないよう求めたが「調整中」と明言を避けた。

代表委員 柴田鉄治、清水正文、白垣詔男、隅井孝雄、中村梧郎、守屋龍一、吉原功

運営委員 茂木章子、清水克郎、大場幸夫、坂本陸郎、須貝道雄、森近茂樹、菊地正志、伊東良平、杉山正隆、安住邦男、大野晃、川田マリ子、河野

慎二、島田三喜雄、菅原秀、鈴木賀津彦、橋詰雅博、萩原啓司、畑泰彦、肥後義弘、保坂義久、吉田博二、他1名

事務局次長 阿部裕、大場幸夫、坂本陸郎、須貝道雄、丸山重威

事務局員 近江秀子

日本ジャーナリスト会議

日本ジャーナリスト会議

日本ジャーナリスト会議

日本ジャーナリスト会議

日本ジャーナリスト会議

日本ジャーナリスト会議

日本ジャーナリスト会議

日本ジャーナリスト会議

日本ジャーナリスト会議

日本ジャーナリスト会議

「チェルノブイリ法」を日本にも!

被災児のケアに全力を尽くすウクライナの姿勢

3月18日、Our Planet TV代表の白石草さん(左)を招いてJCCJ事務所で第25回ミニシンポジウムを開いた。

白石さんは福島県の母親たちの願いも受けて、事故から28年目のチェルノブイリの子どもたちを取



白石草さんは画像を使って説明

材してきた。その映像報告(DVD)を鑑賞した後、講演に入った。そこで報告されたウクライナは、5年目を迎えた福島

の被災者の状況とはあまりにも違っていた。

「チェルノブイリ法」(1991年)は汚染地域を濃度別に四つのゾーンに分けている。

①事故直後に避難した30キロ圏内が「特別規制ゾーン」、②年間5ミリシーベルト以上の地域が「避難義務ゾーン」、③段階的に住民全てを移住させる、④1以

専門の医師が学校訪問し、診察する。何か問題があれば、地域の診断センターや医療機関で細かく検査することになる。

15歳未満が「移住権利ゾーン」で、希望すれば移住できる、④0.5以上1未満の地域は、妊婦や子どものいる世帯は移住できる「放射線管理強化ゾーン」としている。

年間被曝線量は、土壌や食料の汚染から推計される内部被曝と外部被曝の合計で把握されている。

健康診断や医療品は無償、子どもたちの保養への参加や、給食費も無償である。

ではこのデータが語る現実はどうか。医療関係者は、「事故後は成人も子どもも健康レベルが低下してしまっただ、「疾病率の上昇」「免疫系の低下」「老化の低年齢化」と様々な疾病の増加を指摘する。そ

して「全てが事故によるものとは思われないが、一部の疾患は事故に直接起因している」という。

10歳の時被曝し、今15歳の先天的な疾患を持つ子どもに食事療法と保養に力を入れている母親を取材した。自らも疲れやす、つらそうだけれど

健康診断や医療品は無償、子どもたちの保養への参加や、給食費も無償である。

ではこのデータが語る現実はどうか。医療関係者は、「事故後は成人も子どもも健康レベルが低下してしまっただ、「疾病率の上昇」「免疫系の低下」「老化の低年齢化」と様々な疾病の増加を指摘する。そ

「チェルノブイリ法」(1991年)は汚染地域を濃度別に四つのゾーンに分けている。①事故直後に避難した30キロ圏内が「特別規制ゾーン」、②年間5ミリシーベルト以上の地域が「避難義務ゾーン」、③段階的に住民全てを移住させる、④1以

フリーのジャーナリストトリスが昨年3月に東京地裁に提起した特定秘密保護法違憲訴訟が佳境を迎える。3月12日の第5回口頭弁論で谷口豊裁判長が次回の口頭弁論で原告2人の尋問を行うの

「原告の本人尋問をやっではどうか」と突然、切り出したのが発端。1回目の口頭弁論に続き何人かの原告の陳述を求めていた原告団は、陳述を飛び越えていきなり証拠調

谷口裁判長が「原告寄り」の訴訟指揮になったのは、傍聴者の急増が大きき影響している。6月の1回目の口頭弁論で傍聴希望者が70人を超え抽選で傍聴者が決まったの

「原告の本人尋問をやっではどうか」と突然、切り出したのが発端。1回目の口頭弁論に続き何人かの原告の陳述を求めていた原告団は、陳述を飛び越えていきなり証拠調

「原告の本人尋問をやっではどうか」と突然、切り出したのが発端。1回目の口頭弁論に続き何人かの原告の陳述を求めていた原告団は、陳述を飛び越えていきなり証拠調

秘密法違憲訴訟、佳境に

傍聴者急増で画期的動きも

フリーのジャーナリストトリスが昨年3月に東京地裁に提起した特定秘密保護法違憲訴訟が佳境を迎える。3月12日の第5回口頭弁論で谷口豊裁判長が次回の口頭弁論で原告2人の尋問を行うの

「原告の本人尋問をやっではどうか」と突然、切り出したのが発端。1回目の口頭弁論に続き何人かの原告の陳述を求めていた原告団は、陳述を飛び越えていきなり証拠調

谷口裁判長が「原告寄り」の訴訟指揮になったのは、傍聴者の急増が大きき影響している。6月の1回目の口頭弁論で傍聴希望者が70人を超え抽選で傍聴者が決まったの

「原告の本人尋問をやっではどうか」と突然、切り出したのが発端。1回目の口頭弁論に続き何人かの原告の陳述を求めていた原告団は、陳述を飛び越えていきなり証拠調

べとなる原告尋問の実施という思いがけない出来事に直面したのだが、この提案を「朗報」と受けとめた。11月の3回目の口頭弁論で、谷口裁判長はさらに踏み込んだ発言をした。裁判長は「秘密保護法施行後にどんな深刻な問題が生じるかを具体的に原告本人から言ってもらいたい」と原告側に要請したのだ。

谷口裁判長が「原告寄り」の訴訟指揮になったのは、傍聴者の急増が大きき影響している。6月の1回目の口頭弁論で傍聴希望者が70人を超え抽選で傍聴者が決まったの

「原告の本人尋問をやっではどうか」と突然、切り出したのが発端。1回目の口頭弁論に続き何人かの原告の陳述を求めていた原告団は、陳述を飛び越えていきなり証拠調

「原告の本人尋問をやっではどうか」と突然、切り出したのが発端。1回目の口頭弁論に続き何人かの原告の陳述を求めていた原告団は、陳述を飛び越えていきなり証拠調

2回目以降の口頭弁論は約1000人が入る103号法廷に変更された。大法廷で今までの口頭弁論は4回開かれ、毎回、傍聴席はほぼ埋まった。

「密約なんですか」。吉野文六さんは、初対面であっさり認めた。天国に上った私は、だが次の瞬間、雲の中に放り出される。「協定に書いてあるでしょ」

密約が書いてある? 珍問答が続き失礼ながら思った。86歳。取材は無理だ。10年前のことだ。幸運だったのは私の無知だ。協定には付属文書がある。札幌に戻り北大図書館で調べた。

「何もありませんでした」変ですわね。沖繩返還協定とはこういうものですよ。吉野さん宅通いが始まった。聞かれてもない数字を口にし、私が「何ですか」と聞く

原告代理人の山下幸夫弁護士は「傍聴者が多いので、裁判長は、いい加減な訴訟指揮はできない」と思い、原告尋問を実施する。違憲訴訟では画期的です」と評価する。

次回の6回目の口頭弁論は6月3日(水)午後2時から103号法廷で

「密約なんですか」。吉野文六さんは、初対面であっさり認めた。天国に上った私は、だが次の瞬間、雲の中に放り出される。「協定に書いてあるでしょ」

「密約なんですか」。吉野文六さんは、初対面であっさり認めた。天国に上った私は、だが次の瞬間、雲の中に放り出される。「協定に書いてあるでしょ」

開かれる。証人として法廷に立つ原告はこの活動の中心メンバーの寺澤有と林克明の両氏。寺澤氏は長年、警察の腐敗を追及してきた人で、林氏は日本の国家賠償請求訴訟や労働問題なども取材している。橋詰雅博(違憲訴訟原告)

吉野さんは答えてくれたのだ。「確かに、日本が肩代わりしたんです」吉野さんの取材を始めしたのは、琉球朝日放送の番組「メディアの敗北」で西山さんの「敵役」と知ったからだ。吉野さんと議論できたのは、我部政明琉球大学教授が米國で見つけた密約文書や、朝日、毎日、TBSなどの調査報道があったからだ。道新に次いで共同の若い記者が吉野さん宅に走り、全国配信した。他紙がさらに取材した。メディアスクラムで権力犯罪を追った。吉野さんはそのスクラムに入ってくれた。

「過去を忘却し、歴史を歪曲するのは、国民にとってマイナスの方が大きい」。2009年、沖繩密約訴訟で証言後、吉野さんはこう語った。マスコミが萎縮し、たたき合いをしている場合ではない。ペンを持つ、スクラムを組もう。吉野さんに報いるためにも。住吉文(北海道新聞編集委員)

「過去を忘却し、歴史を歪曲するのは、国民にとってマイナスの方が大きい」。2009年、沖繩密約訴訟で証言後、吉野さんはこう語った。マスコミが萎縮し、たたき合いをしている場合ではない。ペンを持つ、スクラムを組もう。吉野さんに報いるためにも。住吉文(北海道新聞編集委員)

リレー時評



J.C.J.代表委員 中村梧郎

司法が原発の安全性に鋭い警告

高浜原発3、4号機の再稼働を認めない仮処分決定が出た。原子力規制委員会の規制はゆるすぎるという画期的な内容である。これは、安倍政権と規制委員会、全

原発に対する鋭い警告である。津波壁作りやベントを可能にという程度の手直しで基準にパスするのが今日の規制である。原発側は福島

から後ろから来る。一方でベントは事故後の放射能塵が噴出する。規制委は何を規制しようとしているのか。福島原発を教訓とし

もヤンキー原発の運転を停止させた。昨年、現地で会った市民らは、「合理的な考えを対峙させて粘り強く闘えば必ず勝てる」と語った。米原子力規制委員会

4月8日の東京新聞は「(外務省が84年に)原発攻撃被害、極秘に研究」「反対運動恐れ(内容を)公表せず」とのス

「福島を経験から言えるのは安全が最優先という」と訪日前に述べ

た。ドイツは福島後、航空機の衝突をも考慮して2022年までの原発全廃を決めた。現代は無人攻撃機時代。テロをどう防ぐかが現実の課題なのだ。米軍との共同

岩盤はない。莫大な交付金を餌に、希望自治体を募っているが、一旦埋めたら10万年も100万年も安全を保障しなければならぬ。誰がそれをやるのか。

原発再稼働、辺野古の米軍基地建設強行、そして憲法改悪。政治そのものがあたかもテロリズムと化したかのようだ。

贈られた「真実に迫る勇氣」 「歴史歪曲はマイナス」 吉野文六さんを悼む

手はしゃべらない。覚悟を決めた。議論の中で大声を出した。怒鳴った。西山さんは、前科者にされた。もう74歳。このまま死なせるわけにいかない。田舎新聞だが、私も記者の端くれだ。先輩記者の汚名をそそぐ義務を負っている。本当のことを話してくれ。

「過去を忘却し、歴史を歪曲するのは、国民にとってマイナスの方が大きい」。2009年、沖繩密約訴訟で証言後、吉野さんはこう語った。マスコミが萎縮し、たたき合いをしている場合ではない。ペンを持つ、スクラムを組もう。吉野さんに報いるためにも。住吉文(北海道新聞編集委員)



写真は西山太吉さん(左)と語り合う吉野さん

大野晃の スポーツコラム

2020年東京五輪の
変えろだ。

組織委員会がレスリングなど3競技会場を千葉の幕張メッセに変更することを要請し、千葉県知事が快諾した。すでにバスケットボール会場は埼玉県に変更されるなど、五輪招致の売り物の一つとなったコンパクト五輪は限らない広域五輪に姿を

た。コンピュータが勝敗を選ぶ方式だから八百長の恐れはないと、際限なくスポーツ賭博の拡散を狙っているようだ。さらには、五輪開催後に神宮外苑地域を大規模に開発する計画もサッカーに拡大する検討に入っ

た。コンピュータが勝敗を選ぶ方式だから八百長の恐れはないと、際限なくスポーツ賭博の拡散を狙っているようだ。さらには、五輪開催後に神宮外苑地域を大規模に開発する計画もサッカーに拡大する検討に入っ

「吉野源三郎さんのJCI」
今井康之

1951年、私は中卒の年少社員として岩波書店に採用された。吉野源三郎さん(1899~1981)はその頃喘息を患い社を休んでいた。ある日、著者でもあった吉野さんの家へお誘いされた。精悍な顔のおじさんが玄関に出てきて原稿を下さる、紅茶を出してくださった。私は端に座って小匙で

年12月、吉野さんは岩波雄の意思に添って「世界」を創刊した。翌46年4月に全日本印刷出版労働組合を組織して初代書記長となり、5月には岩波源三郎を立ち上げて委員長に就任した。



「ご都合主義五輪」極まる

再開発して、神宮球場と秩父宮ラグビー場を入れ替えて、スポーツ施設群を整備する計画もサッカーの五輪開催が極まったと、くじの胴元である日本

倍首相は言わない」と批判。元共同通信記者の青木理氏は「日本のメディアは、イラクに大量破壊兵器があると云った政府や、数々の冤罪事件の誤報は訂正も、検証もしない。それなのに、朝日の慰安婦報道は社を挙げて批判する。知識人の転向はジャーナリズムから始まる」と丸山眞男は言った。長谷川綾(北海道新聞記者)

JCI 6月集会
憲法メディアフォーラム
13日に明治学院大で

戦後70年。平和憲法の危機に、ジャーナリズムは過去から何を学ぶべきか。――

新聞・出版など言論界が権力に屈して日本が戦争に突入していった時代を骨身に刻んだ吉野さんは、きな臭い情勢を見てとって、1955年JCI創立に尽力し、初代議長に推された。

メディアは総転向しつつある!?

朝日慰安婦報道バッシングでシンポ

朝日新聞慰安婦報道へのバッシングを検証する公開シンポジウムが4月5日、東京外語大で開かれ、「ジャーナリズムは総転向しつつある」(ジャーナリスト青木理氏)、「私を捏造記者だとバッシングすることは、元慰安婦をバッシングすることだ」(元朝日記者植村隆氏)な

は、歴史学では成立しない」と断言した。朝日「第三者委員会」委員として慰安婦報道検証に携わった林香里東大大学院教授は1990年以降の欧米、日韓の新聞記事を調べた結果、①第1次安倍政権の2007年と第2次安倍政権の14年に慰安婦報道が飛躍的に増えた②慰安婦問題に関する発言、動向が最も多く報じられたのは安倍晋三首相だったと報告。

植村氏は「この(バッシングの)動きが東アジアの相互理解の大きな障害になっている」と結んだ。シンポ呼びかけ人の林博史関東学院大教授は「和解を阻んでいるのは被害者側、韓国人だ」と主張に一見リベラル派のメディア、知識人が共感している。知的退廃だ」と危機感を露わにした。長谷川綾(北海道新聞記者)

基調講演(現在交渉中)の他、新聞から新崎盛吾・新聞労連委員長、放送から岩崎貞明・メディア総研事務局長・民放労連中執、出版から吉田典裕・副委員長、教科書対策部長をパネリストに、吉原功JCI代表委員がコーディネーターでパネルディスカッションする予定だ。

1950年代の吉野源三郎さん。雑誌「世界」の編集長、JCI初代議長として活躍されていた。

いま日本は再び戦争をする国になろうとしている。吉野さんがご健在なら、安倍政権に勝手なことを許さない全国的な包囲網をつくることに精力的に取り組まれていたに違いない。

翁長知事、官房長官に民意を直言

沖縄県民の結束さらに強まる

今月最大のトピックにしたアライバイ作りである。何と言っても、4月5日のことは見え見えだった。翁長知事の会談だ。初めは安倍政権との対峙の場、知事自らの言葉で直言した。昨年12月の翁長知事就任以来、辺野古新基地建設に反対する知事との面談を頑なに拒否し続けてきた安倍政権が、急転直下、官房長官との会談を決めたのは首相訪米を前

「沖繩が自ら基地を提案したことはない。奪つておいて、代替案は持っているのか、日本の安全保障はどう考えているんだなどというは日本の政治の墮落。世界から見てもおかしい」上から目線の「粛々と」という言葉を見事に代弁するものだった。

葉は米軍政下のキャラウエー高等弁務官を思い出さす」などの発言に県民は溜飲を下げ、「辺野古基地は絶対に建設することはない」という確信に拍手喝采した。自らの信念と政治哲学に根差した翁長知事の言葉に比べて、菅官房長官の言葉の貧弱さが際立った。

全国のメディア、各地方メディアなどでも報道が行われている。県や県民がきらめくのを待っているのだから、その線はとどくに越えたことを彼らは知るべきだ。政府内や米国内にも縦びが見え始めた一方、翁長県政と県民の結束はますます強まっている。5月17日には知事出席のもとに1万人集会が予定されているが、会場のセルラースタジアムの内外野席3万4千を溢れさせたいと、熱心な取り組みが進んでいる。



左から植村、林、青木、伊藤の各氏
講演で、米國史を専門とする松原宏之立教大教授は「門外漢だが、慰安婦問題研究の実証度は高い。多くの公文書や資料が確認されている。慰安婦が存在しなかった、強制性はなかったという議論

たという議論

たという議論

たという議論

たという議論

たという議論

たという議論

たという議論



中継リポート

出版部会
総会と例会

取次にも変革の波

象徴的な講談社の組織改編

JCJ出版部会は11日(土)午後1時から東京千代田区の岩波セミナールームで、総会と4月例会を開いた。

総会では守屋龍一事務局長が14年度活動報告を行い、例会4回開催を盛り込んだ15年度活動方針案を提示、水上人江世話人が14年度決算を報告。いずれも承認された。ちなみに6月例会は26日(金)夕方6時30分から岩波セミナールームで、「辺野古の怒りVS「他人の本土」」と題した講演会を実施。元沖縄タイムス記者の渡辺豪氏が報告する。



星野渉・文化通信編集長

星野編集長は述べた。「講談社は組織を大変更した。第1から第6まであった編集局という名前をなくし、事業局に名を改めた。これに伴い六つの販売局を一つの販売局に統合、第一事業局から第六事業局にそれぞれ販売部を置いた。第一事業局販売部といった具合になった。出版社の仕事のやり方を縦割り型から制御一体型に変えた。紀伊国屋書店と丸善・ジュンク堂・文芸堂などの書店を傘下に持つ大日

本印刷が共同出資し設立した会社も変革のあらわれ。両社の電子書店の入れなどを統合する会社だが、ライバル書店が入っているのは異例。欧米のような書店チェーン化の前兆ととらえることもできる」

変革の波は大手出版取次会社の日本出版販売(日販)とトーハンにも押し寄せている。どちらも第3商家と呼ばれる文具や雑貨の売り上げが急伸中だ。また、日販は書店の空間プロデュースとしてカフェづくり事業を推進、トーハンは高齢者住宅・介護事業への参入を決めた。両社とも取次以外の事業に軸足を移しつつあるのだ。

電子書籍では13年春開業したドイツの電子書籍販売サービス「TOLLI」NO(トリノ)の急成長が欧州で注目されている。「トリノは国内主要書店とドイツテレコムが協業したのが成功の大きな要因。アマゾンの電子書店Kindle(Kindle)のシェアを上回った時期もあった。最近はいタリア、オランダ、ベルギーの書店も加入。このままでは電子書籍でもアマゾンに大きなシェアを奪われるという危機感からトリノは生まれたのです」

このトリノをモデルにしてスタートしたのが日本の電子書籍共同販売サービス「Bookca(ブツカ)」。書店と出版社100社が連携して構築した。トリノのように大化けするのだろうか。橋詰雅博



松田浩氏

JCJジャーナリスト講座

松田浩氏、戦後放送史を語る

「NHKはどうなるのか?」そして自伝的ジャーナリズム論」と題してジャーナリスト講座が4月5日、東京で開かれた。講師は元日本経済新聞編集委員でメディア研究者の松田浩氏。戦後放送史をたどりながら「ジャーナリストは市民社会の旗手である」と強調した。

松田氏は1953年に日経に入社。雑誌「世界」を持て「アカ」と呼ばれる職場で、御用労組を退けた。戦後放送史をたどりながら「ジャーナリストは市民社会の旗手である」と強調した。

自主労組にすべく活動した。会社の人事で、日経では「花形」ではない放送担当記者となったが、そこで専門性を磨く。「ひとりっ子」放送中止事件(62年・防衛大を扱ったテレビドラマが中止)では各社記者と連帯し、同ドラマにテレビ記者会賞を徹夜の議論の末に与えたという。

性を説く松田氏は、太平洋戦争中に陸軍幼年学校に進むなどゴリゴリの軍国少年だった。敗戦後、侵略をなせ「聖戦」と信じたが、「痛恨の反省」をした。NHKをめぐり、1949年に吉田茂首相の息がかかった古垣哲郎が会長の座につくと、様子は一変する。「逆コース」の始まりだ。今日、安倍政権のもとで首相と親密な4人の経営委員と初井勝人会長が送り込まれた。松田氏は4人の意味について「NHKの経営委員は12人いて、うち10人の同意があれば会長を替えることができる。だが4人が反対すれば会長を交代させることはできない」と語り、確だ「兼子草平(写真も)

オバマのレジドントづくり

2008年と12年と2回当選したオバマ大統領だが、残り任期は1年3カ月。この間にレジドント(政治的遺産)を残すことが最大の課題だ。その一つがイラン核開発問題の解決であり、もう一つがキューバとの国交回復である。本紙3月号で述べた

ツの6カ国とイランの交渉で枠組み合意が成立、6月末までに包括合意を目指す。

イランの核開発を最も恐れているイスラエル政府は、この問題に取

批判の長広舌をぶち上げた。しかしオバマ政権は、穏健派のロウハニ大統領が率いる現イラン政府が実質的な譲歩を示したことを評価して、包

括合意へ詰める構えだ。包括合意が成立すれば、1979年のイラン革命以来断交している米・イランの外交関係正常化も日程に上るだろう。米・キューバ首脳が昨

年12月、半世紀余も敵対関係にあった両国の国交正常化への大転換を明らかにしたビッグニュースは世界中から歓迎された。それから4

月、折も折パナマで開かれた米州首脳会議でオバマ大統領とカストロ国家評議会議長が首脳会談を開いた。

この会談で両首脳は、この半世紀間に積み重ねられたさまざまな難問を交渉で解決し、遠くから国交を正常化することを目指した。米国家と指定して敵国視していた問題も、オバマ政権が指定を取り消す

注目しよう。



撮影：松井久

彼女はその学校から学校へ戻るようにき

劇団俳小 『子供の時間』

子供の告げ口だけで
社会から追放された女教師

演劇回り舞台

ある時、教師と言いついては、そういうレッテルを貼られただけで社会から追放されることを意味した。買い物に出ることもならず、学校に引きこもる以外になすすべもなくなくなってしまったカレンとマーサ……。(3月18〜22日 池袋・シアターグリーン・ボックスインボックスにて上演) 安住邦男

外交ドキュメント 歴史認識

服部龍一

20年間継承された村山談話の立脚点に学べ

戦後70年、安倍首相が、野談話、村山談話などの今夏出す「談話」に国内重要な「政策過程」を丹念に分析する。「安倍談話」をまとめる首相も無視できない史料が多く盛り込まれている。

本書は、その歴史認識に関する歴史教科書や靖国参拝、従軍慰安婦と河

中曽根首相靖国神社公式参拝は、中国・韓国の強い反発を招き、靖国問題の「起源」となった。

95年8月15日、村山首相が談話を公表した。戦後50年を機に出した村山談話は「植民地支配と侵略により多大の苦痛と損



い。歴史認識は領土問題とも連鎖する。近年は、中韓両国の対日不信が増幅し、首脳会談の断絶にまで至っている。

村山談話は20年間継承され、日本政治の「共通言語」になってきた。著者は「対外関係における言葉の重みを政策に活かしたまれば事例」と村山談話を評価する。

しかし、歴史認識の問題は一直線には進まない。河野慎二

書評

本・BOOK・ほん

(価格は税別です)

福島第一原発事故7つの謎 NHKスペシャル「メルトダウン」取材班

恐るべき原発事故の「落とし穴」を 克明に追及した調査・検証報道



(炉心溶融)という最悪の事態が起きたのか。本書は「メルトダウン」シリーズで、この謎に挑んできたNSPの取材班が新たに書き下ろした検証報告。

驚くべき事実が次々と報告される。1号機の非常用冷却装置(電源がなくとも蒸気で作動するとされていた)が津波直後から動いていなかったこと、現場の吉田所長らは気づかなかつた。気づく機会は4回あったが、

段として、格納容器の気体を外部に放出するベントが実施された。だが放出する放射性物質を千分の一に減らせる除去装置なのに、試算の100倍もの高濃度の放射線が測定された。再現実験したら、事故時のような高温では放射性物質を除去できないことが判明する。

初期の段階では消防車による放水で400トンもの水を注水し原子炉を冷却するはずだったが成功しなかった。配管図を精査したところ、原子炉の水漏れを防ぐ特殊な構造が作動せず、消防注水が別の管から復水器に流れ込んでいた。

地方消滅の罠 「増田レポート」と人口減少社会の正体 山下祐介

「自立を前提とする多様性」の中から 持続可能な地方再生が実現する



「地方中核都市をダムにして東京集中を食い止めるべき」とするレポートのキーワードが、産業界で言い古された「選択と集中」である。

著者は、「選択と集中」の単純な発想が「すべての町を救えない」という論理に引きずり込み、実質的な地方・農家の切り捨て、さらには地域の崩壊に帰結する危険性を指摘する。

今、全国の農山漁村で見られる若者などの回帰現象や里山資本主義などの動きは、経済効率一辺倒の「選択と集中」への強力なアンチテーゼである。

「道は一つではない」のである。

(ちくま新書 900円)

原子力発電所では、万一の時には、燃料を「冷やし」、放射性物質を「閉じ込める」ことで放射性物質の環境への異常な放出は防げるとされてきた。ではなぜ福島原発事故ではメルトダウン

近代技術の集積である原発の安全対策の数々の「落とし穴」に慄然とせざるをえない。出色の科学報道、調査報道として一読を勧めたい。

(講談社現代新書 840円) 菅原正伯

短歌

現代の窓

評小石雅夫

阿木津英(八雁)

冬木立つ曇りがなかに日をあふぐ拡声器の声わたらふそらを 短歌4月号「群集」

議事堂を囲めるわれら虫多のあそびのごとく手に手をつなぐ 同

メディアまた政党なだれをうつさまを目のあたり見つ喜劇のごとく 同

討論といふ名の茶番劇つづく良き音質の大画面にて 同

狗賓童子の島

飯嶋和一

大塩の乱で隠岐へ流罪となった童子が、島の若者たちと蜂起に至る壮大な物語



のだ。だが幕府にとっての恐怖の的は、庶民には英雄だった。それゆえ、常太郎は隠岐の島の住民たちに、流人とは思えぬほど大切に遇される。

やがて常太郎は医師としてこの島の人たちの暮らしに溶け込んでいく。

本書は、常太郎の成長譚を縦糸に、幕末の不穏な情勢に揺れる島内外の動きを横糸として壮大な物語を紡いでいく。島を支配する松江藩の横暴と、抵抗の火種をくすぶ

今回の『狗賓童子の島』も、むろん期待を裏切られなかった。この著者の私の一押し作品は『神無き月 十番目の夜』(小学館文庫)だが、それに匹敵する読み応え。

時は幕末、舞台は隠岐の島。ここへ大塩平八郎の乱に連座した西村履三郎の息子・常太郎が流されてくる。大塩の乱の際はわずか6歳だったが、15歳になったことで流罪となる。それほど幕府は大塩の乱を恐れていた

結局、新政府もまた抑圧機構であることに変わりはなかったという苦い結末。そして赦免船で島を去る常太郎。

同じ隠岐の、東の間のコミュニケーションを描いた小説に『神と語って夢ならず』(松本侑子、光文社)があるが、その視点はまるで違う。併読も面白い。

(小学館 2300円) 鈴木耕(編集者)

「道は一つではない」のである。

(ちくま新書 900円)

長年にわたり、全国各地の農山村や中山間地集落などで、人々の営みや絆を調査研究してきた著者は「選択と集中」の対極として、「自立を前提とする多様性の共生」という道を挙げる。

「農村は農村で、都市は都市で、それぞれの地域が小さく自立していくことで、協同が生じ、循環が可能になり、縮小社会は実現する」。

著者は地方再生の論理と方向性についてこう強調する。

住民投票という名のファシズム

「大阪都構想」は改憲国民投票のリハーサル

死んだはずの「大阪都構想」が生き返って大阪を騒がせている。昨年末に首相官邸と創価学会本部の「ホットライン」によって公明党大阪府本部の決定が覆されて以来、大阪では再び大阪都構想の住民投票をめぐって維新の活動が活発化した。

大阪市解体構想

もともと維新が描いていた大阪都構想は、関西の州都としての「大阪都」を目指したもので、大阪府全域を「大阪都」として大阪府・堺市の2

大阪府議会、大阪市議会で一旦否決された大阪都構想の法定協議会案が再び両議会上程され、市議会では3月13日に、府議会では3月17日に可決。4月27日告示、5月17日に住民投票が行われることになった。

もし賛成多数で住民投票が成立すれば、130年近い歴史を持つ大阪市が解体されて消滅してしまつことになるのだから



3月22日の国会デモの出発を待つ隊列

高まる統一の機運

5・3も「安倍ノー!!」

5月3日の憲法記念日は中央レベルではこれまで、東京・日比谷と日本教育会館で別々に開いてきた集会が、今年は合同で、横浜・臨港パークで開かれる。

「戦争法」国会審議を前に安倍政権の「暴走」に対する反対のうねり



広原盛明 (筆者)

議員は選挙で選出するところだが、その皮切りになるはずの2013年9月の堺市長選で維新候補が敗れ、堺市が大阪都構想から離脱することになり周辺9市もさげすまざるを得ない。このこと

たのである。極めて拘束性高い

ここで留意すべきは、大阪都構想の住民投票は大都市地域特別区設置法(2012年8月成立)にもとづく「拘束型住民投票(法的拘束力のある住民投票)であつて、地方自治法第74条にもとづく「諮問型住民投票(法的拘束力のない住民投票)ではないということだ。しかも成立条件が付

う住民投票は、地方自治の本旨を歪め、議会制民主主義を否定する危険極まりない企みだといわなければならぬ。橋下氏の狙いは訳のわからない大阪都構想を「訳のわからないまま」にして「○か×か」の単純な二者択一投票に持ち込み、府民に十分な議論と理解の機会を与えないまま「大阪都構想」大阪府解体構想を一気に実現しようとするところにある。

またこれに同調して府議会・市議会の議決を覆し、全てを住民投票に委ねるとした公明党の態度は公党としての議会審議権を放棄するものであり、「住民投票」という名のファシズムへの拝跪に他ならない。

このような事態は国家の重要政策を「イエス」「ノー」かの単純選択に還元して国民投票にかける、これを繰り返しながら大阪都構想の賛否を問

「短期間のうちに東京で会場を探すのは無理だった。連休期間、代々木公園など大きな会場は既にイベントが押さえていた。一年以上前からないと確保できない」

「官邸前もあるが…」

「大集会の会場という点で、東京は言論・表現の自由が制約された都市で、人々の意思表示の場が少なくない。官邸前の抗議活動は人々が任意に集まったもので、日比谷野音などの集会とは違つた。最近では、国会包囲のときも議員会館前の道が立ち入り制限されている」

「よく「安倍のような運動を」と言われます。「安倍の時と違つて、

は、いま、大きな統一に広がりがつた。これまでは「憲法改悪」や「許すな! 憲法改悪・市民連絡会」などでつくる「憲法集会実行委員会」は日比谷で、連合系労組や原水禁による「フォーラム平和・人権・環境」は教育会館で、別々に集

安倍内閣打倒の一点共闘

実行委員会高田健さんに聞く

5月3日の憲法集会在分かれていたのは労組が連合系・全労連系と分かれていたことが大きい。原発や秘密保護法の共同行動の中で、自治労と自治労連も共闘するなど統

かされることになったもので、数万人単位の大集会が期待されている。

健さん(許すな!憲法改悪)市民連絡会に話を聞いた。

「何が力になったか。昨年一年かけているん団体やネットワークの共同行動を準備してきた。『戦争させない・9条壊すな!総の枠組みで、国会包囲を何度も実現させた』

「新しさは、それぞれ」

「新しさは、それぞれ」

「新しさは、それぞれ」

「大集会の会場という点で、東京は言論・表現の自由が制約された都市で、人々の意思表示の場が少なくない。官邸前の抗議活動は人々が任意に集まったもので、日比谷野音などの集会とは違つた。最近では、国会包囲のときも議員会館前の道が立ち入り制限されている」

「よく「安倍のような運動を」と言われます。「安倍の時と違つて、

今年統一憲法集会は「平和」といふと人権を! 5・3憲法集会

戦争・原発・貧困・差別を許さない」と題し横浜の臨港パーク(横浜みなとみらい地区)で午後1時半から開かれる。実行委連絡先はいずれも東京、「市民連絡会」3221-4668、「憲法集会」3261-9007、「平和フォーラム」5289-8222

3・22集会に1万4千人

11項目の課題で「安倍ノー」訴え

3月22日、東京では、日比谷を中心に、新宿、渋谷、上野などで「安倍政権ノー」の大行動が行われた。日比谷は市民団体を中心に、別々に活動している団体が一緒に活動した行動で、日比谷野外音楽堂には1万4000人が集まり、終了後、デモと国会包囲が行われた。しかし、マスメディアの報道は弱く、市民からは満の声も挙がった。

集会の事務局になったのは、首都圏原発連合(反原発)、原発をなくす全国連絡会、NPO法人アジア太平洋資料センター

公明党が安倍政権にすり寄るのは、創価学会の利益をまもるためには連立政権から離脱できないからであり、安倍政権の背後に公明党の「代役」として維新が控えているからだ。安倍政権は公明と維新を天秤にかけて競わせ、憲法改正を通して「戦後レジームの脱却」を目指している。大阪都構想住民投票は、改憲国民投票のリハーサルなのである。

高田健(京都府立大学元学長、都市計画・まちづくり)